学校番号	2001

令和８年度　理科

教科	理科	科目	地学	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	地学（啓林館）						
副教材等	センサー地学（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では，地学基礎の学習にあわせて，地球について「固体地球の概観と活動」，「地球の歴史」，「大気と海洋」，「宇宙の構造」という４つの観点からみると，われわれの地球はどのように捉えることができるのか。さらに深く学習し，地球の環境や宇宙の中の地球として捉えて，地学の考察してください。
・授業用ノートを準備してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地学の基本的な概念や原理・法則を理解する。宇宙の姿や星及び，惑星地球の特徴など理解する。また，地球の構造や地表面の地学上の特徴や環境，地球史を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
目的意識をもって観察，実験などを行い，地学的に探究する能力や科学的な見方や考え方を養う。さらに，応用的な概念や原理・法則を身につけ，地学の現象を数式で表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め，主体的に，実験や実習，地学的な分析や考察ができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	観察，実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。地学的な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得するとともに，それらを科学的に探究する方法を身に付け，観察，実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	地学的な事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験などを行うとともに，事象を実証的，論理的に考えたり，分析的・総合的に考察したりして，問題を解決し，事実にもとづいて科学的に判断したことを言語活動など通じて表現する。	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	固体地球の概念と活動	地球の概念 プレートテクトニクス 地球の活動	a: 地球の形状や内部構造を理解し，知識を身に付けている。ICT 機器や実習用紙を用いてデータを読み取る。 b: 地球の形状や内部構造，活動について考えることができる。また，表や実験結果を読み取り，それぞれを比較・分析や考察することができる。 c: 地球の形状や内部構造，活動に関心をもち，観察や実習を通して調べようとする。また，授業や実験実習に主体的に取り組める。	定期考査 小テスト 課題成果	定期考査 課題成果 実験実習レポート	提出物 授業態度 発問評価 課題取組 ノート提出 実験実習レポート
2学期	地球の歴史・大気と海洋	地表の変化と地層 地球・生物・環境の歴史 私たちの日本列島 大気の構造 大気の運動 海洋と海水の運動 気候変動と地球環境	a:地層や地球と日本の地質歴史及び，大気や海洋，地球環境を理解し，知識を身に付けている。 b: 地層や地球と日本の地質歴史及び，大気や海洋，地球環境を多角的に理解し，考察や分析・比較を行うことができる。 c: 地層や地球と日本の地質歴史及び，大気や海洋，地球環境の学習内容に主体的に取り組める。	定期考査 小テスト 課題成果	定期考査 課題成果 実験実習レポート	提出物 授業態度 発問評価 課題取組 ノート提出 実験実習レポート
3学期	宇宙の構造	太陽系の天体 構成の性質と進化 銀河系と宇宙 探究的な学習の進め方	a:太陽系と宇宙について理解し，知識を身に付けている。 b:太陽系と宇宙の仕組みや未知の領域を考察し，考えを表現することができる。 c:太陽系と宇宙の学習内容に主体的に取り組み。課題や実習に主体的に取り組みことができる。	問題演習 小テスト	問題演習 課題成果 実験実習レポート	提出物 課題取組 実験実習レポート 発問評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度